

レクリエーション かながわ

スコール

(S C O L E)

発行日 平成 2 年 1 月 1 日
事務局 〒 231 日本大通り 33
横浜市中区 教育庁 3 階
神奈川県 体育課 内
指導部
電話 (045) 201-1111
内線 7274

- ・第 1 回 会員研修会
- ・第 1 回 全国レク研究大会
- ・登録会員 348 名

発行・神奈川県レクリエーション連盟 / 編集・専門(会員)委員会

あけましておめでとうございます



「相模の的祭」(1月6日) 相模原市指定・重要無形文化財

時 評

平成二年度への 活動に向けて

県レク連会長 植村恭作

平成二年の新年を迎えるにあたり、レク関係者に一言申し上げます。自由時間の増加と、生活のゆとりで、レク指向の波は急激に高まり、その要求する活動内容も、従来の三種の神器では、とても応じきれない情勢になってまいりました。

そこでレクの今後の方向として一、みんなのスポーツ楽しむスポーツへの道をひらく。多くの県民が望んでいる、生涯スポーツの条件づくりをはかる。

二、サーフ 90、湘南国際村構想、すこやかかながわフェステバル、更には新神奈川県計画にあるリゾート計画に対しても積極的に研究し、県レクプランを提案する。

三、国で進めているスポ・レク祭について、神奈川県版をどう展開するか。

以上、県市町村の行政当局と提携、レク活動を進めている諸施設と協力体制を組んで進める。早急にスタッフをあげプロジェクトチームを組みたい。やる気のある人よ集れである。

第 1 回 全国レク研究大会

初めての全国レク研究大会は、八月二五日～二七日の三日間福岡市で「ふるさと創生と生涯スポーツ」を基本テーマに五つの領域別研究部会と十五種目の実践活動で行われました。

新しい風をおこそう、この大会は、公認レク指導者など、レクの実践家の手で運営されたのも大きな特徴でした。

開会式に先立って演じられた福岡のレク運動四〇年の歴史を綴ったミュージカルでは、観客席の大会参加者が飛び入り参加、舞台上での歌に踊りに盛り上がりました。開会式では、三笠宮崇仁総裁代理として出席された寛仁殿下が、「地域や福祉など国民的課題に取り組むため、生涯スポーツ・学習でのレクの果たす役割は大きい」とのお言葉を述べられました。

記念シンポジウムは「あそびと文化」をテーマに竹とんぼで著名な秋岡芳夫氏、日本女子大学一番ヶ瀬康子先生、大阪大学井上俊先生、そして雑誌「ランナイズ」の編集長下条由紀子氏がそれぞれの立場から楽しい話をされました。

学校レク研究部会は、佐賀県の山寺にこもり、熱狂的な盛り上がりを見せ、福祉レク研究部会では、多くの施設職員の参加を得てレク財の開発、公開講演会「生きがい福祉の心を育てよう」で早川一光氏の語りにホロリ、最後にはネットワーク結成が行われるなど、各部会で熱心な取り組みが行われました。実践活動ではよかトピアでデモをしたダンス、野外活動、レク・スポなど多彩な活動が展開されましたが、中でも秋岡氏指導の竹とんぼは寛仁殿下も熱中されるなど大人気だったようです。空路ともに帰途に着いた県レクのメンバー、良い大会だったとの感想が多く寄せられました。来年は、京都で開催される予定です。



スポレク祭 89

第2回全国スポーツ・レクリエーション祭は、10月29日～11月1日までの4日間、愛媛県松山市を主会場として開催されました。

スポレク祭は、生涯スポーツの祭典でスポーツやレクリエーションを通して全国的な交流の輪を広げる事が目的です。

私は、神奈川県選手として、ターゲット・バードゴルフに参加するため、空路松山にむかいました。市内はレクスポ一色で私達をむかえてくれました。

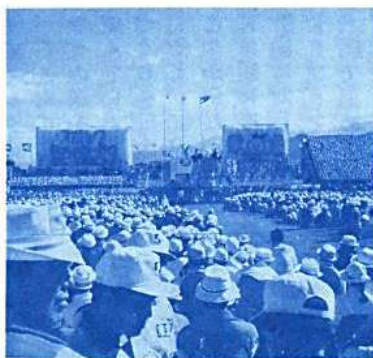
開会式当日は、風がやや強かったが、絶好の秋晴れとなり陸上競技場のスタンドは超満員、開会式の内容も芸能人等の参加もあり、華やかな式となり、明るく楽しい開会式でした。

翌日から各種競技が始まり、ターゲット・バードゴルフは、市内の特設コースに神奈川県、4名を含め全国より約200名が参加して行われました。選手の年令は、20才代～70才代と幅広く、和気あいあいとした中にも真剣な競技が展開されました。山梨、京都、地元愛媛のレベルは高く、神奈川の力は平均的だったと思われます。

松山市の名所は、道後温泉と松山城ですが、チンチン電車が走っている落着いた思い出に残る良い都市でした。

来年のスポレク祭は、和歌山で開催されます。

(T・N記)



後期レク・スクール おわる

十月十四日(日)から十一月二十五日(日)まで県立体育センターを会場に開催された。後期レクスクールが五日間の日程を修了して閉講した。今回の受講生は、体育指導員、専門学校生、企業からの派遣参加がめだつた。

(内容) 基礎実技 (GSD)、GWT
クラフト、WR等

(受講者) 40名、(修了者) 34名

第一回会員研修会から
地域における
レク指導者の役割

第一回会員研修会が去る十月五日に、相模原市立大野南公民館を会場に行われました。当日は天候にも恵まれ、八十一名の登録会員の参加がありました。

午前中は、植村会長の挨拶でプログラムがスタートし、シンポジウムを中心に話し合いが行われました。シンポジウムでは、職場レク実践家の中山次氏、地域レク実践家の佐藤純子氏、別府和子氏から、活動の様子、失敗談、指導者としての心構え等が話されました。

また、日レク指導委員会委員の宇田川光雄氏から、レク運動の歴史から見た地域におけるレク指導者の変遷等についての話題提供がありました。

引き続き、昼食をはさんでグループ討議に移りました。グループは6グループあり、地域・年齢・活動歴等さまざまな会員が集まり、熱心な討議が重ねられました。討議後行われた各グループ毎の発表では、レクリーターの後継者の育成、指導者としての研修、地域住民とのかかわり、活動場所の確保等、会員のそれぞれの立場で持

つ、組織上、運営上の苦勞、諸問題等が話題になったようです。その後、宇田川氏より講評があり、21世紀に向けて、レクリーター自身から、自ら遊べる環境づくり、みんなが遊べる環境づくり、を考え、余暇の上手な使い方を支援できる専門家になろうという話がありました。

最後に、「あなたの幅を広げるマジック」と題して、マジック愛川クラブ会長の井上桂氏の指導でマジックの実技講習がありました。紅白のロープ、2本のストロー、ロープ等を使った簡単なマジックですが、参加している人を魅了する楽しい内容でした。

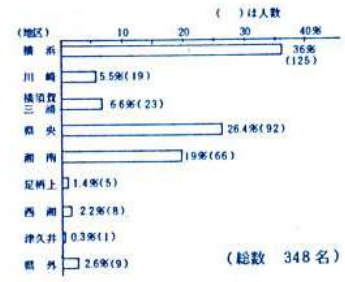
第一回の会員研修会でしたが、参加者の協力もあり、有意義な一日が過ごせました。



登録公認指導者(3)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|
| 坂内 博子(横浜) | 島田 晴夫(桑野) | 伊藤かおり(横浜) | 田村 直治(愛川) | 中島 佳子(横浜) | 牧田 圭子(桑野) | 小森 正美(横浜) | 横山 浩之(桑野) | 川田 敦子(横浜) | 町田 智美(桑野) | 河西 章子(横浜) | 佐藤 和子(座間) | 白井 洋(横浜) | 津下由加子(厚木) | 小森 雄次(横浜) | 波多野啓子(座間) | 藤野 俊(川崎) | 白井 悦子(大和) | 佐藤 昌生(川崎) | 伊藤 春代(平塚) | 羽田 良一(小田原) | 塚原由美子(桑野) | 平山 勝雄(横須賀) | 三竹 睦子(座間) | 永谷 絃子(横須賀) | 鈴木 義祐(横浜) | 窪田恵津子(藤沢) | 高藤 君江(横浜) | 吉村登志子(相模原) | 高藤 裕子(横須賀) | 川上三千男(横須賀) | 小川 正子(座間) | 高沢 チョ(海老名) | 綾部ハマ子(横浜) | 滝沢 章(海老名) | 蓮見 弘一(厚木) | 長谷川 勉(横須賀) | 小林 尚子(相模原) | 鈴木 峰香(横須賀) | 西谷金三郎(大和) | 保田 和秀(横浜) | 若邑 昌孝(横浜) | 夏目さなみ(茅ヶ崎) | 吉田 まき(横浜) | 三上 悦子(寒川) | 米村 英子(愛川) | 橋本 和秀(武蔵野) | 天城由美子(横浜) | 松園美由紀(東大和) | 細田 菊枝(横浜) | 渡辺 敦(江戸川区) | 廣田 淳平(横浜) | 榎谷 幸郎(桑野) | 鈴木 静子(平塚) | 波多野裕康(座間) | 石川 和代(横須賀) | 松崎 弘(平塚) | 小山タネ子(横浜) | 加藤 清介(横浜) | 木村 智彦(横浜) |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|

登録会員(1)



- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------|
| 中島 浩昭(横浜) | 渡邊 武(厚木) | 黒川美穂子(横浜) | 布川みづほ(綾瀬) | 伊藤 恵生(横浜) | 市川 公子(横浜) | 真辺 恵子(横浜) | 内藤 晴美(伊勢原) | 花房 勉(横浜) | 有田 幸子(愛川) | 間瀬 玲子(横浜) | 内田 初子(海老名) | 吉田 利夫(横浜) | 稲垣 芳江(座間) | 中村 啓支(愛川) | 北野 美代(寒川) | 河本 タケ(相模原) | 越智 三王(平塚) | 西谷 智子(大和) | 白井 幸夫(横浜) | 衣袋 和芳(横浜) | 小林 守(川崎) | 山口 秀子(横浜) | 佐藤久美子(横須賀) | 新沼 伸一(世田谷区) | 角田 京子(横浜) | 秋山 江里(横須賀) | 物江 実(横浜) | 菊野ミキ子(厚木) | 高橋妃都美(厚木) | 杉原真奈美(綾瀬) | 原 智子(平塚) | 西沢 武(横浜) | 大森 晴子(横浜) | 富岡 和彦(平塚) | 津田 忠久(相模原) | 廣瀬 高志(横浜) | 波田 美穂(横浜) | 三浦 勇(横浜) | 新井 照子(座間) | 星野 修司(座間) | (以上) |
|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------|-------------|-----------|------------|----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|-----------|-----------|------------|-----------|-----------|----------|-----------|-----------|------|

事務局だより

日本レクリエーション協会
情報より

○全国いつでもチャレンジ・ザ・ゲーム大会をご存じですか。公認種目は三つ、いずれもグループで記録に挑戦するフィットネスゲーム、特別な体力や能力なしに楽しみながら運動できるのが特色。

キャッチング・ザ・スティックは、横一列の十人が十六本の棒を移動しながら倒さずキャッチできる回数を競うもの。グループ・バンブー・ダンスは、二本の竹棒を三拍子で開閉、六人が足を挟まないで片足ずつ何回入れられるかに挑戦。ロープ・ジャンピング・テックは、一人ずつ入った大縄に十人揃ってから何回飛べるかの縄とび競争。記録は毎月表彰されます。この記録、公認される為には普及審判員二名の立ち会いが必要(県レクで認定講習会を実施)。賞品は例えばぶく料理セットなど、毎月様々な山海の珍味。ぜひ参加してみたいかが。○既に、審判員のみなさん、資格更新は全員四月一日付と、制度が決まりました。

2級指導者養成のための
トレーナートレーニング

新カリキュラムによる「レク概論」の講義内容と講義法を学ぶための講習会が、日レクの主催で平成元年十一月十七日(金)十九日(日)川崎市青少年の家で実施されました。

北海道から沖縄まで、一級・上級指導者六十人余りの皆さんが参加して、熱心な研修活動が行われました。なお、本県からは一三名が参加しました。

第14回
レクリエーション指導者大会

「ふれあう輪(和)」をテーマに、県レク加盟の各地域協会、各種団体指導者を結集して「チャレンジする・指導する・参加する」等お祭りのイベントを計画しています。(詳細は後日要項にてお知らせ)
(期日)平成二年三月十八日(日)
(会場)海老名運動公園総合体育館 (事業企画委員会)

県内ネットワーク

○横須賀市レクリエーション協会
・後期レク指導者養成講習会
△福祉レク・セミナー▽

(期間) 12月22日(毎木曜10回)

18時30分～21時

(会場) 県横須賀青少年会館

○ターゲット・バードゴルフ協会

・一月定例のつどい(練習会)

(期日) 12月10日 10時～15時

(会場) 横浜市港南区港南台

5丁目 運動広場

・三月定例のつどい(練習会)

(期日) 3月11日 10時～15時

(会場) 藤沢市立藤沢小学校

※9日仮設コース(運動靴・クラブPW・手袋持参)参加自由

○神奈川県サイクリング協会

(建替のため平成2年6月まで)

(仮事務所) 〒220 横浜市西区平

沼一丁目13番14-901号室

パークノウェア横浜志番館

(電話) 045-311-6168 (変更なし)

◆お知らせ

・会員交流のつどい

(日時) 平成2年12月12日

(会場) 横浜市中区「中華街」

・第2回会員研修会

(期日) 平成2年12月17日(土)

(会場) 国民生活C(相模原市)

・2級審査会：△お伝えください▽

(期日) 平成2年2月25日(日)

(会場) 横浜市青少年育成C

※受験者は、平成2年2月15日(木)まで

に書類を県レク事務局へ提出

事務局日誌

専門委員会の会合が毎月のように開かれる。今夜は六時半より会員委員会。機関紙「スコーレ」3号の編集を中心として、論議や作業が活発にすすめられることだろう。また明後日は事業企画委員会、体育センターでのレクスクールの終了後に予定されている。

北は愛川、東は川崎、そして西は湯河原からと、県下各地から集まる専門委員のみなさんの熱意には、頭が下がる。

編集後記

90年代の幕開けです。また、21世紀もすぐそこまでやってきました。1年の計は元旦にあり、と言いますが、今後10年間の余暇設計を立てるのも面白いものです。

さて、「スコーレ」も第3号を発行することができました。今年度は2年目に入るわけです。今後とも、会員登録者の情報ネットワーク紙として、スタッフ一同努力していきたいと思えます。

また、各地域で行われるさまざまなレクリエーション情報につきましても、事務局にもお知らせいただければ幸いです。(J・S)